



Title	『大阪大学日本語日本文化教育センター 授業研究』 第6号 刊行にあたって
Author(s)	
Citation	大阪大学日本語日本文化教育センター授業研究. 2008, 6
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/8808
rights	本文データはCiNiiから複製したものである
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

『大阪大学日本語日本文化教育センター 授業研究』

第6号 刊行にあたって

本センターは1954年に留学生別科として設立され、1991年に留学生日本語教育センターへと改組、そして、予備教育開始50周年と本学の国立大学法人化を契機として、2005年4月に教育と研究のいっそうの充実を目指し、日本語日本文化教育センターへと改称いたしました。

これまで、研究留学生、学部留学生、教員研修留学生、日本語・日本文化研修留学生などさまざまな留学生を多数受け入れ、その間、留学生の多様なニーズに応えられるよう教育カリキュラムの工夫・改善を重ねてまいりました。よりよいカリキュラムの開発には、日頃の教育の中から生み出されてきた方法論や教材論を共有し、蓄積することが肝要であると考え、本センターでは2003年3月に、専任教員、非常勤講師がともに自由に日頃の成果を発表できる場として本誌の創刊号を刊行いたしました。また、このほかに、教育の質の向上を目指して、日本語日本文化教育センター教育研修会を開催しており、今年で3回目を数えます。

今年度10月に大阪外国語大学は大阪大学と統合いたしましたが、日本語日本文化教育センターは引き続き同じ体制で日本語・日本文化教育にあたっております。今後の日本における留学生施策の動向にも柔軟に対応していくようさらに体制の強化を図るなか、昨年度に引き続いてこの度『授業研究』第6号が刊行できる運びとなりました。本センターでは教育研究のより充実と発展を目指して今後もさらに研鑽を積んで参りたいと思っておりますので、何卒ご高覧ください、ご批判、ご教示を賜れば幸甚に存じます。

2008年3月

『大阪大学日本語日本文化教育センター 授業研究』
編集委員会